

久喜市ゆう・あい 事業報告

平成 28 年度の事業計画に基づき、以下の障害福祉サービス事業（生活介護）を行いました。

1. 利用者状況と職員配置（平成 29 年 3 月 31 日現在）

(1) 利用者状況

定員 20 名 現員 19 名（男性 11 名 女性 8 名）

ア 年齢構成

区分	10代	20～24	25～29	30代	40代	50代	60代	平均
男	0	6	4	0	1	0	0	25.6 歳
女	0	1	0	6	0	0	1	36.6 歳
計	0	7	4	6	1	0	1	30.2 歳
%	0	36.8	21.0	31.6	5.3	0	5.3	100.0

イ 障害支援区分

区分	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男	0	4	6	1	11
女	2	1	1	4	8
計	2	5	7	5	19
%	10.5	26.3	36.9	26.3	100.0

ウ 療育手帳及び身体障害者手帳の所持状況

区分	療育手帳						身体障害者手帳						
	㊦	A	B	C	なし	計	1級	2級	3級	4級	5級	なし	計
男	11	0	0	0	0	11	0	0	1	0	0	10	11
女	4	2	1	0	1	8	3	1	1	0	0	3	8
計	15	2	1	0	1	19	3	1	2	0	0	13	19
%	78.9	10.5	5.3	0	5.3	100	15.8	5.3	10.5	0	0	68.4	100

エ 利用率の状況

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	20	22	22	23	21	21	22	20	20	20	23	255 日
延利用者数	362	333	385	380	378	368	358	366	339	340	357	404	4,370 人
利用率	86.2	83.3	87.5	86.4	82.2	87.6	85.2	83.2	84.8	85.0	89.3	87.8	85.7%

(2) 入退所

ア 入所 なし

イ 退所 なし

(3) 職員構成

職 種	人数	備 考
施設長	1	正規職員（法人内他事業所兼務）
主査	1	正規職員（サービス管理責任者）
生活支援員	9	正規職員 2 名 常勤契約職員 2 名 短時間職員 5 名
生活支援員兼事務員	1	正規職員
看護師	1	常勤契約職員（法人内他事業所兼務）
計	13 名	

2. 基本事業

(1) 日常生活支援

個別支援計画に基づき、本人の状況に沿いながら、それぞれが自分のことを自分で行えるように環境を整え、できることを増やしていけるような支援に力を入れました。

ア 食事

- (ア) 食材の刻みやとろみ材の使用など、咀嚼や嚥下の機能に合わせた支援を行いました。
- (イ) ピンセット箸や介護用スプーン、小鉢を使っての小分けなど、それぞれの能力に合わせた食器や用具を用意して食べやすいよう工夫しました。

イ 排泄

- (ア) 排泄支援の必要な利用者には、定時誘導を行いながら排泄サインの定着を目指して支援しました。その結果、自分から排泄サインをしたり、立ち上がって何かを伝えようとするなど、それぞれに大きな進歩がみられました。

ウ 着脱衣等

- (ア) 靴の脱ぎ履きがしやすいよう玄関先に椅子を利用し、安全を確保しながら行いました。

(2) 社会生活支援

ア 社会体験活動

いろいろな体験が積めるよう、なかなか行けないような場所への外出や電車利用も行いました。

活動内容	行先・内容等	実施月
農業体験（トマト取り）	小山農場（加須市）	7 月
日帰り旅行	日光江戸村	9 月
発障協利用者部会	すこやかプラザ（新年会）、アイビーボウル加須等	1,2 月
買い物外出	ダイソー	2 月
外食体験	きっちんこすもす	2 月
社会体験外出	①加須未来館（プラネタリウム） ②いちご狩り（JA 南彩） ③トモエ乳業（古河市）	2 月 3 月 3 月

イ 文化活動

活動のなかに音楽や創作活動を積極的に取り入れました。

音楽活動	障害者への音楽指導を行っている講師に来ていただき、音楽療法の手法を取り入れた音楽活動、ボランティアによるコンサート、合奏など
創作・文化活動	壁面制作、マスキングテープ創作、絵描き、本読みなど
調理	食事改善指導員との調理実習、お菓子作りなど

ウ 作業活動

- (ア) 受託作業は DVD 解体、コーヒー等の箱入れ、バリ取り、キャップ付けを行い、バリ取り作業は、昨年度に引き続き、久喜市いちょうの木から作業材料の提供を受けました。
- (イ) アルミ缶やダンボール、新聞のリサイクル、回収作業は地域の方や市内にある酒屋、ゆうあいの前にあるマルハンから回収して仕分け作業を行いました。
- (ウ) アルミ缶回収の単価が、平成 27 年度は 1kg100 円～125 円だったものが、平成 28 年度の上半期は 1kg70 円だったため、売り上げが 3 万円程度落ちてしまいました。
- (エ) 自主製品の材料は、平成 27 年度頃までは以前からの在庫を利用していたが、徐々に在庫もなくなり、特に布製品の種類を増やしたり、下半期に販売の機会が多く予定されたため、平成 28 年度の上半期には材料の購入に多くの経費がかかってしまいました。そのため、上半期の工賃支給額は少なくなっています。

(班別活動内容)

ハートワーク班	バリ取り、DVD 解体作業、缶つぶし、牛乳パックの椅子作り、本読み、音楽活動、マスキングテープ創作、運動、足湯など
ハンドワーク班	受託作業、自主製品の製作と販売、カレンダー製作、広報紙作成など
フットワーク班	アルミ缶・新聞紙・ダンボール等の回収・選別作業、近隣清掃など

(作業内容と工賃)

作業内容	収入額	諸経費	差益額
リサイクル作業	159,825 円	75,014 円	84,811 円
自主製品販売	235,900 円	104,912 円	130,988 円
受託作業	124,919 円	332 円	124,587 円
小 計	520,644 円	180,258 円	340,386 円
前年度繰越額	1,897 円	—	1,897 円
合 計	522,541 円	180,258 円	342,283 円

(工賃支給額)

※ 3 月 31 日分は平成 29 年 4 月 30 日に支給

支給日	10 月 31 日	3 月 31 日	合計
工賃支給額	94,100 円	245,800 円	339,900 円
平均支給額	4,953 円	12,937 円	17,890 円
最高支給額	5,500 円	14,300 円	—
最低支給額	2,000 円	5,200 円	—

エ 交流活動

- (ア) 地域のイベントや法人主催行事に参加し、地域の方や他施設の利用者など、多くの人と交流を深める機会を作りました。
- (イ) 法人内の他事業所と連携し、合同行事の開催のほか日常にお互いを行き来する機会を積極的に作って交流を深めました。

地域イベント		法人内行事等	
鷺宮コミュニティまつり	5月	盆踊り	8月
ホットハートフェスティバル	6月、2月	啓和まつり	11月
久喜特別支援学校 PTA 夏祭り	7月	あゆみの郷合同クリスマス会	12月
スポレクフェスタ	9月		
埼玉葛人権のつどい	10月		
鷺宮コスモスフェスタ	10月		
鷺宮人権のつどい	12月		
くりの木まつり見学	2月		

(3) 余暇活動支援

余暇を充実させて楽しみのある生活が送れるよう支援しました。

季節行事	花見、プール、クリスマス会、新年会等
誕生会 誕生者外出	誕生者の希望に沿って、外出やお祝い会を実施 ダンスタイム・ハンドベル等のレクリエーション、ボウリングや近代美術館へ障害者アート見学、環境科学センター、古代蓮公園などへの外出、買い物、外食など
クラブ活動	スポーツクラブ：加須未来館、自転車乗り、久喜けいわの機能訓練棟で運動、公園散策、買い物外出など クリエイトクラブ：絵画や工作を取り入れた壁面制作、飾り付け、お菓子作りなど

(4) 健康支援

- ア 日常的な健康管理のほか、ストレッチや散歩、腹筋などの運動や、個別プログラムに基づいた機能訓練、足湯や手浴などの血行促進やリラクゼーション活動など、それぞれの必要に応じた健康支援を行いました。
- イ 機能訓練の一環（余暇も含む）として、8～12月に1～5人のグループにして、室内である鷺宮プールと菖蒲プールを利用しました。
- ウ 嘱託医による健康相談会と管理栄養士による食事・栄養相談会を実施しました。食事・栄養相談会では保護者奉仕日に合わせて管理栄養士による講話を行ってから、個別相談をしました。

日常健康管理	毎朝の健康チェック、体重、血圧等のバイタル測定（毎月1回）、発作・食事量・排泄等の記録、看護師による健康チェックなど
健康診断	協力医療機関である東鷺宮病院にて、3班に分かれて実施 基本内容のほか、希望により自己負担にて検査項目を追加
嘱託医による	嘱託医相談 毎月1回 第3木曜日

健康相談・指導	インフルエンザ予防接種 健診結果や健康についての個別相談会の実施（担当職員による）
管理栄養士による栄養相談・指導	保護者を対象に「元気に生活するために」を実施 食事・栄養・健康についての個別相談会の実施

(5) その他

ア ボランティアについては、ゆうあい通信で地域等へ協力依頼や社協のボランティア体験プログラムなどで確保に努めています。4月より、定期的に散歩や作業の補助をして下さるボランティアさんを受け入れました。音楽活動や自主製品製作補助、活動補助等に4名の方が定期的に来てくださっており、きめ細かな支援に繋がられました。

イ 音楽バンドを結成している特別支援学校教諭（2名）を招待し、音楽コンサートを実施していただきました。久喜特別支援学校に着任していたこともあり、利用者さんも知っている方が多く、より楽しめたコンサートでした。

ウ 久喜特別支援学校から利用希望者の実習受け入れを行いました。

ボランティア	作業補助、散歩付添い、音楽会等の催し	5名、延 154日
利用者実習	久喜特別支援学校の実習受け入れ	2名、延 7日

3. 自主事業

(1) 夏季期間（お盆期間）の利用状況（8月13日～15日）

外食とさいたま水族館への外出をしました。

13日（土）	14日（日）	15日（月）	合計
休所日	休所日	12名	12名

(2) 時間延長受け入れ状況

原則、8:30から17:30の間で、要望に応じて実施しました。

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用延人数	5	11	5	4	4	6	6	4	4	6	7	5	67

(3) 休日開所利用状況

地域イベントや各種行事への参加、ボウリング外出や調理実習などを行って、余暇の充実を図りました。

月別	4	5	7	8	9	10	11月①	11月②	12	1	3	合計
利用人数	13	12	12	11	11	12	12	14	11	13	12	133

(4) 歯科健診・ブラッシング指導

久喜市歯科医師会様の協力のもと、啓和会が主催する歯科健診・ブラッシング指導をあゆみの郷と合同で実施し、ゆうあいでは10名の利用者が参加しました。

(5) 作業療法士によるOT指導（3月）

主に、機能訓練や身体機能に関すること、食事の摂取の仕方、利用者へのアプローチのポイントなどについてアドバイスを頂きました。

- (6) 宮代特別支援学校の教員による動作訓練指導（7月、3月）
宮代特別支援学校の協力を頂いて、動作訓練を実施しました。訓練プログラムの内容にもアドバイスを頂き、利用者の現状に合わせて更新しました。
- (7) 音楽療法士による出張教室
障害者への音楽指導を行っている講師に来ていただき、音楽療法の手法を取り入れた音楽活動を月に3回（第1～3金曜）、行いました。重度の障害のある利用者を中心に活動し、毎回テーマに沿ってプログラムを構成し、楽しみながら音楽を聴いたり、体を動かしました。回数を重ねるごとに利用者の笑顔も多く見られるようになりました。
- (8) 施設だよりの発行
利用者の編集による「ゆう・あい通信」を年5回発行し、保護者や近隣協力者への配布を行うほか、区長をとおして地区内の回覧を行ってもらい、広報活動に努めました。
- (9) 送迎サービス
公用車（リフト付きハイエース）を使用して朝夕の送迎サービスを行いました。7名の方が常用し、そのうち朝のみ、夕のみの方がそれぞれ1名ずつおります。また、家族の都合や悪天候により、送迎を希望した方への送迎を実施しました（5名、延べ68回）。

【重点事項】

- (1) 支援の充実
- ア 個別支援計画の進捗状況を小まめにチェックし、活動班によるグループ会議を行い、本人の状態に合わせてきめ細かい支援ができるようにしました。
 - イ 利用者の健康状態を家族から聞き取り、情報を共有しながら本人の状態に合わせて活動を調整しました。
 - ウ 6月に利用者1名が乳房切除術と腋窩リンパ節郭清術を行いました。高齢で一人暮らしをしていることもあり、兄姉やケースワーカー、介護保険担当者、支援センターと術前、術後の対応を協議しました。兄姉、支援センターと連携しながら、ゆうあいでの健康状態を見て必要に応じて自宅での様子を確認しています。経過は良好で元気にゆうあいに通所し、週2回介護保険のサービスを利用しています。
- (2) 職員の育成
- ア OJTを通じて職員の育成を図り、職員全体の資質の向上に努めました。
 - イ 障害者虐待防止の研修に参加した職員からの報告を踏まえ、ゆうあいの支援で気になる場面を挙げてグループ討議を行いました。また、法人全体の虐待防止についての研修に参加し、より意識が高まるようにしました。
 - ウ 外部研修は、職員の経験や目的に合わせて参加しました。内部研修は外部研修の報告や安全管理、虐待防止等について企画し、学ぶ機会を作りました。

(外部研修)

日付	研修名	主催者名	参加者名
5月26日	ボランティア担当者新任研修	埼玉県社協	小山
6月1,9日 9月21日 1月16,17日	サービス管理責任者研修 (生活介護)	埼玉県	中村
6月13日	生活サポート協会 支部長会研修会	生活サポート協会	高宮
6月21,22日	防火管理新規講習	日本防火・防災協会	寒河江
7月1日	通所事業所部会	発障協	多田
7月14,15日	関東地区知的障害福祉 関係職員研究大会 埼玉大会	発障協	伊藤
7月14日	〃	〃	染谷
7月15日	〃	〃	松本
7月19日	摂食・嚥下リハビリテーション初級研修	埼玉県社協	岡野
7月26日 8月25,26日	埼玉県障害者相談支援従事者初任者研修	埼玉県	多田
9月27日	障害福祉サービス事業所職員初級研修	埼玉葛北自立支援協議会	小山、木村
10月4,14日	リスクマネジメント研修	埼玉県社協	多田
10月7日	障害のある方のための健康づくり講座 ゲームづくりのヒント編	埼玉県総合リハビリテ ーションセンター	岡野
10月11日	虐待防止研修	埼玉県社協	小山
10月12日	レクリエーション研修	埼玉県社協	染谷
11月1日	モチベーションアップ研修	埼玉県社協	寒河江
11月17日	障害者施設感染症対策研修	幸手保健所	中村
11月21日	介護記録等の書き方研修	埼玉県社協	伊藤
12月1,2日	サービス管理責任者研修 (知的・精神)	埼玉県	松本
1月20日	クレーム対応研修	埼玉県社協	中村
1月27日	施設長及び幹部職員研修会	発障協	松本
2月28日	サービス管理責任者フォローアップ研修	埼玉葛北自立支援協議会	多田
2月17日	実践交流会	発障協	小山
3月8,9日	サービス管理責任者フォローアップ研修	発障協	多田

(内部研修)

日付	内容	企画担当	参加者
5月27日	熱中症予防について	寒河江	11名 (多田欠席)
7月8日	虐待防止研修	多田	12名
8月5日	防犯対応について	松本	11名 (小山欠席)
9月2日	安全管理について	松本	12名
2月10,24日 3月21日	虐待防止研修 ～ゆうあいにおけるグレーゾーンについて～	松本	12名

(法人研修)

日付	内容	講師等	参加者
6月30日	新任職員 記録の取り方研修	鈴木 SV	多田 新任対象者はなし
8月27日	普通救命講習	久喜消防署	多田、中村、寒河江、小山
9月23日	安全運転講習	JIC 山口氏	多田、中村、寒河江 高宮、佐藤、小山、木村
11月1日	安全運転講習	JIC 山口氏	染谷
12月2日	安全運転講習	JIC 山口氏	寒河江
1月18日	介護技術研修	のぞみの園 金子氏	松本、多田、中村 寒河江、小山
2月14日	安全運転講習	JIC 山口氏	松本、岡野
3月10日	虐待防止研修 「虐待、不適切なかかわりとは何か？」 「援助者の怒りのコントロール」	会津大学 市川氏	松本、多田、中村、寒河江 高宮、小山、岡野、木村
3月3日	歯の健康についての講演会 「ブラッシング、プラークコントロールに意義、方法」 「障害者の口腔ケアの注意点 食べ方とお口の健康～姿勢と噛み合せの関わり」	歯科衛生士 細川氏 本町ながし お歯科医院 院長	中村

(3) 地域交流

- ア 鷲宮コミュニティまつりや鷲宮コスモスフェスタ、ホットハートフェスティバルの販売等に参加し、地域の方と交流する機会を作りました。
- イ 11月に保護者会と共同で近隣、缶回収等でお世話になっている地域の方、ボランティアさんを招待し、音楽ボランティアのコンサートと食事会、自主製品の販売を行いました。地域の方からは「こういう機会があると良い」というお話をいただきました。準備や保護者会の役割分担などの反省がありましたが、今後も反省を活かしながらより良い地域交流行事を計画していきます。
- ウ ゆうあい通信を利用者と一緒に近隣に配布し、地域の方との関係を深めました。
- エ 地域への奉仕活動として、概ね週に1回、地域の美化活動を行いました。